

労農連帯を一層強め、三里塚・ジェット闘争を貫徹しよう!

本部組織部、ボデーガードを連れて 「定中方針を伝達」!?

眩場からの疑問に 本部は、まともに答える 公平な組織指導を!

露呈されたフアッシュヨの体質!

三月五日、中央本部・城石組織部長より「明日(六日)午後一四時頃第一〇二回定中委の決定方針について伝達するため、一、二、三人で千葉地本へ行くので、執行部を召集しておいてほしい」という電話があり、地本は東京地本内各支部で「本部・関東青年部が千葉地本へオルグに入る」という指示が出されたその「オルグ当日」ではあったが、中執との「話し合い」であることを踏まえて、受け入れをすることを決定し、全執行部が待機することとした。三月六日一四時、城石・伊東・小谷の三中執が五人の「ボデーガード」を伴って地本に到着、直ちに「話し合い」に入った。冒頭、城石組織部長より「一〇二定中へ千葉地本の中野中央委員が参加しなかつたので、中味と決定について伝達する必要がある、『日刊』その他で『来たことがない』と言われているので来た。疑問があれば説明はするが今日は論争するつもりはない」と前置きして、「伝達」が行われた。

まず、城石組織部長より、「千葉地本が一貫して指令・指示に違反していた事実はまぬがれないので、七件について査問委員会に追加申請(三役・執行委員全員・地青二役・津田沼支部長)し、一件を事実調査することとした。指令・指示を守らないのは逆にいえば守るわけにはゆかないという前提に立つからであり、千葉独自の運動路線を歩むということである。従って、執行権停止に値する」ということを決定し、発効時期はオルグの状況などを見て中執が一任された」という全く一方的な「説明」がされた。

これに対し千葉地本の側から、電話連絡をストップした件「関東青年部発第一号」「一・三〇〇一」の指令なき集団の問題などを中心に組織運営上の問題を中心に、規約・規則・機関運営ルールの問題点の解明を求めていったが、真正面から答えず、一般論にすり替えたり、居直ったりして、まともに疑問に答えなかつた。「中央本部はひとつひとつの案件について当該地本と相談していたら中央本部の運動はなり立たない」とか「中央本部は暴力があつたことを肯定してない」「第一四回全国青年部長会議における」千葉地青の三役を認めない」という「権能停止」は、規約・規則上問題はない」といふ城石組織部長の発言は、現在の中央本部の官僚的、フアッシュヨの体質を示して余りあるものであつた。

最終的に千葉地本の側からは、「一方の側が全く理不尽で好き勝手に千葉地本攻撃をすることを放置し、この攻撃に対して千葉地本の対応を全ておさへにかかると組織指導のあり方について聞いていないのに答えられていない。今必要なのは公平な組織指導だ」「オルグについては職場に入る前に、地本執行部、全支部長、全分科会長と本部三役とが話し合う場づくりを作るべきだ。地本全執行部が査問にかけられている現状と、千葉地本から要請した第三四回全国大会後のオルグでは事情が全く違うということを踏まえるべきだ。このような状況になる前にオルグに入るべきだったが青木書記長は『聞く気がないのに入つても仕方がない』と言って応じなかつた。形式的に『やった』という形をつくるだけのオルグでは意味がない」という見解を出し、中央本部の側からは、「今日は機関決定無視についてどうするのかということでは来たものではなし。意見は聞いた。明日の中執にこの中味を報告して決定が出される。決定の中味について千葉地本にストレートに知らせることは約束できない」と見解が出され、スレ違ひのまま、本部は「時間がな」ということでソクサと退席した。

形式的「話し合い」では解決しない!

この本部の対応は一定の時間を費し「やった」という形式だけを整えるためのものとしか思えず、誠意をもって疑問に答えるということの全く感じられないものであつた。

これが労働私物化の实体だ!

3月4日、東京地本中野支部に貼り出された掲示である。破綻につぐ破綻にあせり、危機「株案決定脱」の「4葉破産オルク」をデッチ上げてはみまもの、千葉のき然たる対応と自分たちの足元から噴出した不信不満の前にボロボロになり、「東京地本8時集會」すらできず、完全に破産してしまつた。「本部・関東青年部は」と、明言されて指示されている以上、本件に関する決定「経過」総括「その責任の所在」について、本部中執と関東地青は全国に明らかにしなければならぬ。36本報組織部との話し合いの席では、城石組織部長は「そんな事はわらない」の(?)と説明した。全く信じられない話だ! 一体、誰がどこで、これをとりまきついているのか!?

一部分子の労働私物化=組合員みまわりの実態をまざまざとみせつける事実である。

青年部緊急指示

千葉地本の階級的確立の為に 「本部・関東青年部、千葉地本全支部交流 オルク」を、3月5日に実施します。

千葉地本執行部は、昨101回中央委の決定に基づく「1/30~31交流会議」を自からボイコットすることを通じて、話し合いによる組織問題の解決を自から放棄したのである。

そして、一切の機関の会議や行事を地本執行部の指導のもとにボイコットしてきているのである。又、組合員の義務である組合員も本部の組合員には納入されていない。もはや、ここまでくると単なる株案決定の無視というレベルの問題にとどまらず、まさに千葉地本執行部みずから分裂の拳にでてきたと判断せざるをえないのであり、これまで平穏な解決を期待してきた全国の組合員を裏切るものであるといわなければならない。

昨102回定中委の確認にもとずき、千葉地本の再建の奮闘しようではないか。(原文の註)

地本集會8時、労働中野支部青年部

全組合員・家族の強固な団結 組織破壊攻撃を粉碎せよ!